

(別紙 2)

令和 8 年度 小野地区地域資源発掘・活性化方針調査業務委託 公募型プロポーザル審査基準

企画提案書、見積書等の内容を総合的に評価し、最も優れた提案者（以下「最優秀者」という。）の選考を行う。

1 審査について

(1) 資格審査

実施要領に示す参加資格の要件等を満たしていることを確認する。

企画提案書に必須記載項目が記載されているか確認する。

※上記を満たしていない場合は失格とする。

(2) プレゼンテーション審査

企画提案書等審査は、各委員の合計点数を平均し、点数の大きい順番で順位をつける。

なお、最高得点が複数ある場合は、ランク A（B）の項目が多い者を最優秀者として選考する。

ただし、合計点数の平均が 120 点に満たない場合、最優秀者として選考しない。

また、ランク F の項目が 1 つ以上ある場合は、合計点数の平均が高くとも、選考しない場合がある。

2 採点方法

審査項目の(1)～(9)について、審査基準ごとにランク付けを行い、配点に対する係数を乗じて採点する。

ランク	審査区分	係数
A	特に優れた提案となっている/特に優れている	1.00
B	A と C の中間	0.80
C	一定の優れた提案となっている/優れている	0.60
D	C と E の中間	0.40
E	仕様書の内容は満たしているが、優れている点が認められない	0.20
F	仕様書の内容を満たしていない/提案がなされていない	0.00

3 審査項目等

審査項目	審査基準	配点
(1)業務の基本方針	業務目的を的確に理解し、小野地区の特性に即した独自の視点や熱意ある提案がなされているか。	10点
(2)地域資源の現状把握に関する手法と、情報の整理	5行政区を網羅する地域資源の調査結果について、活用可能性を明確に分析し、市や地域住民等の関係者に活用しやすい形で情報を整理する具体的な手法や成果物のイメージが示されているか。	30点
(3)地域関係者への意識調査	地区住民や地区内事業者等の地域関係者を対象とする意識調査について、広く意識の実態を明らかにする調査と深掘りのできる形式での聞き取りをベースに、「本質的な課題」を捉えることのできる多角的な調査として設計されているか。調査の手法と対象、分析の方向性が明確に示されているか。	50点
(4)継続的な地域活動への関与を後押しするフィードバック	地域関係者への意識調査は、一方的な投げかけでなく、地域住民や地区内事業者等を始めとする地域主体の継続的な活動へのモチベーション向上を後押しする双方向的な内容となっているか。フィードバックの内容やスケジュールが具体的に示されているか。	30点
(5)事業の最終目標としての提言を前提とした、事業全体の構築	地域活性化の方針について、分析によって明らかになった地域資源の活用可能性と、地域関係者の地域に対する意識や取組姿勢、課題感を前提として、小野地区の現状に沿った現実的な提言を行うものとして整理されているか。本事業の趣旨に沿って将来的に市や地域関係者が参考にし得る方針の提示を前提として事業の全体が構築されているか。	40点
(6)実施スケジュール	実施スケジュール、進捗管理は適切か。	10点
(7)実施体制	専門性の高い人員配置や、住民・関係団体と円滑に合意形成を図る体制が整っているか。	10点
(8)業務実績	過去5年間に、他自治体等において本業務と類似する地域活性化・調査等の実績を有しているか。(最大5件) 1件あたり2点。	10点

(9)価格評価	(全参加者の最低価格／当該参加者の提案価格)×配点	10点
合 計	200点	